

1. 人々の生活を豊かにした原油

- (1) 資料Ⅰのドバイはどここの国の都市か、地図帳で確認して国名を答えよう。

アラブ首長国連邦

- (2) ドバイがこのように発展できた理由を考えてみよう。また、何のためにこのような開発を行ったのだろうか。

(例) 原油や石油製品の輸出で利益を得てきたが、石油資源の枯渇に備えて、多くの観光客を呼べる魅力のある街づくりをするため。

- (3) 世界の主な原油の生産国について、資料Ⅱから分かることや気付いたことをまとめてみよう。

(例) 西アジアの国々では原油が多く産出し、世界の生産量の約30%を占めている。

- (4) 産油国が経済発展を目指し1960年に結成した、原油の価格や生産量を決めるための組織を何といいますか。

石油輸出国機構 (OPEC)

2. 中央アジア・西アジアの国々が抱える課題

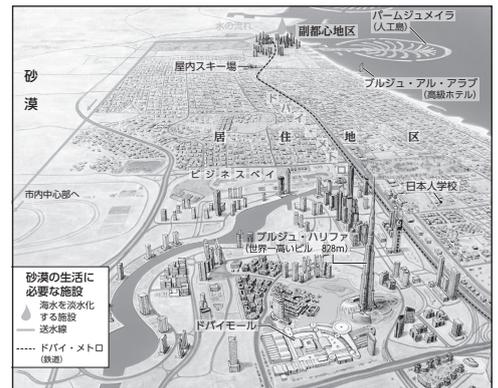
- (1) 資料Ⅲから、中央アジアや西アジアの特徴を挙げてみよう。

(例) ペルシャ湾やカスピ海沿岸で原油が生産され、原油や天然ガスを送るためのパイプラインで結ばれている。

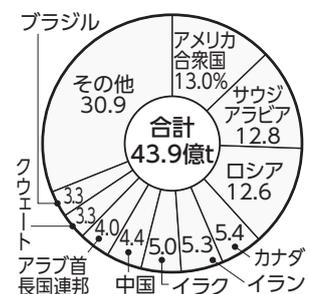
- (2) 資料Ⅳは、内戦から逃れてきたシリアの人々の様子です。シリアの場所を資料Ⅲで確認し、この地域で内戦や紛争が多い理由を考えてみよう。

(例) 鉱産資源の産出による利害関係や、民族や宗教の対立もあり、国が不安定になりやすいため。

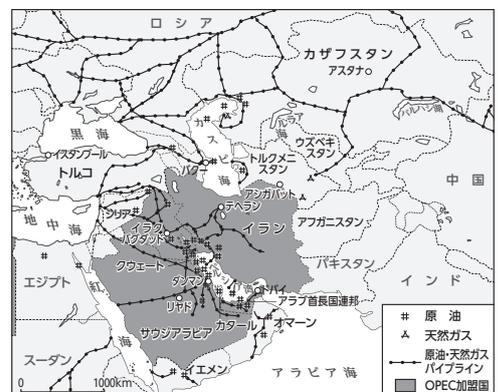
資料Ⅰ



資料Ⅱ



資料Ⅲ



資料Ⅳ



本時のまとめ

◆ 中央アジアや西アジアの国々が、産業を発展させてきた背景について、説明しよう。

(例) 原油の輸出によって得た利益で街を発展させてきたが、国の経済が原油価格に影響されないように、交通・通信網の整備や観光業などの新しい産業にも力を入れるようになった。